

九州・アジア/中国ビジネス研究会

第84回研究会開催案内

日時：平成26年1月31日(金) 18:30 — 20:30

場所：エルガーラ・オフィス棟 6階601-2号室 久留米大学福岡サテライト教室

福岡・中央区天神1-4-2 大丸エルガーラ東館 TEL：092-737-3111

(エルガーラ・オフィス棟は天神・大丸エルガーラ東館と国体道路沿いで隣接するビルです)

講師：公益財団法人福岡アジア都市研究所

主任研究員 天野 宏欣(あまの ひろやす) 氏

略歴：2000年3月九州大学総合理工学研究科大気海洋環境システム学専攻修了。同年(株)野村総合研究所入社。国土環境コンサルティング部、中国・アジア事業コンサルティング部を経て2005年より野村綜研(上海)諮詢有限公司出向。日本企業の中国進出支援や、中国地方政府の地域開発プロジェクトを担当。2008年に株式会社野村総合研究所台北支店に出向し、台湾政府経済部の日本企業誘致窓口「ジャパンデスク」や、台湾政府部門の都市開発・地域開発プロジェクトに従事。2009年に財団法人福岡アジア都市研究所(後に公益財団)に転職。福岡市のアジア政策(アジア企業誘致、国際視察受け入れ戦略等)、都市政策(低炭素都市形成、オープンデータ活用、スタートアップ都市形成等)に関する調査研究と提言を行っている。

テーマ：ネットビジネスの勃興と北京と台北のスタートアップシーン

概要：情報通信技術の急速な発展とモバイル機器の普及により、Amazon社のようなモノの取引が付随するEコマースのみならず、Facebook社のようなウェブアプリ・モバイルアプリが大規模なビジネスに育つ時代になった。これは欧米企業特有の事象ではなく、中国においても百度、テンセント、人人網など急速に成長したネットベンチャーが勃興しており、その規模も成長スピードも目をみはるものがある。これらネット企業は新たなサービスや価値を、自らの社内R&Dで生み出す以上に、外部のスモールビジネスを起こしている人材やチームを統合する形で成長のスピードを維持しているといえる。この新たなサービスや価値を起こすスモールビジネスこそが所謂「スタートアップ」で、世界中の知識経済の担い手となりつつある。今回は、北京・中関村と台北のスタートアップシーンと、その背景にある産業・経済動向を中心に話したい。

会費：参加ご希望の方は以下に申込み、登録の上、当日会場入り口にて参加費1000円をお支払いください。

申込み先：(株)アジアソリューション・中山芳美 宛

電話：092-741-9338 E-mail：yoshimi@asol.ne.jp

九州・アジア/中国ビジネス研究会

主催：一般社団法人九州・アジアビジネス連携協議会

共催：近畿大学産業理工学部・アジアビジネス研究会